

一般質問



防災体制の強化と 市民グラウンド跡地の今後



令和会 ● 藤川 みゆき 議員

防災について

問 行政から区長の方々への連絡について具体的な体制は。

答 メール配信サービス、電話、FAXを用いて各地域まちづくり協議会会長や各区長の皆さまへお知らせしており、地区連絡所においても、各地域の被害情報や避難者数等を収集し、災害対策本部に集約するほか、地域へ情報を伝える仕組みとなっております。また地域の防災活動計画である「地区防災計画」の策定を各区に対してご提案し、策定の支援をしているところですが。

問 その仕組みが共有できているでしょうか。

答 災害時における地区連絡所の役割につきましてもご理解いただけますよう、地域代表者会議で説明をさせていただきます。

問 災害時の情報源となるパーソナルカードなどを積極的に普及することについて

答 現在の「防災・緊急情報メモ」の活用と併せて、パーソナルカードの活用、普及促進に取り組んでいきたいと考えています。

市民グラウンド跡地（高松公園）について

問 今後の活用は今年度末の都市計画審議会が高松公園の土地利用の制限を解いた後、工業用地として売却の公募を考えているとのことでしたが、公募の時期について

答 来年度になるかと思えます。

問 近隣に住居や生活道路のこともあるので、公の場での説明が必要かと思われませんが。

答 丁寧な説明に努めてまいります。



小規模多機能自治の展望と ウツクシマツ保全



令和会 ● 上野 顕介 議員

問 小規模多機能自治の基本構想について

答 骨子案を市民や議会に示すために今年度内策定をめざします。

問 骨子案の内容は

答 四つの生活圏域で市民主体のまちづくりのために今後も行政が担うべきサービスと、地域や民間が担うほうが効果の高いサービスの整理を行い、行政機能の集約化と分散化を決定します。

問 地域の公共施設への行政機能分散は

答 地域に分散する業務のなかで行政が担うサービスに伴う職員の地域配置を実施する考えです。

問 東西庁舎について

答 行政機能の集約と分散を整理したうえで東庁舎は耐震増築、西庁舎は石部の小規模多機能自治の拠点とする方向性で検討します。

問 行政機能が地域分散するならば地域公共

施設こそ増築等必要ではないか

答 行政の分散化の規模に伴い各地域施設の増改築が決まります。

問 ウツクシマツ保全

のためには、自生地環境を取り戻すことが必要。ウツクシマツは他家受粉種で、ウツクシマツ同士の交配では健全な種子が得られないため傘型ウツクシマツだけを補植するのではなく、ウツクシマツ遺伝子を持った交雑マツも補植し、全体の自生地環境を考慮することが必要ではないか。

答 保全活用計画に沿った補植において交雑マツ補植は必要ないと考えます。ウツクシマツの苗木補植は生育試験として令和3年から5年度までの3カ年で行う予定であり、保存活用計画に記述された生育試験にかかる補植のみを行います。